



令和元年度 JAうらほろ役職員一泊研修会

## 無人ヘリコプターによる小麦雪腐病防除

11月5日から9日にかけて、購買部生産資材課による無人ヘリを使用した小麦雪腐病防除の委託作業を行いました。今年58戸の生産者より642ha（上地区…277ha、本所地区…365ha）の申込みがあり、作業は毎年依頼している秋田スカイテック株式の協力のもと行いました。期間中は強風に

無人ヘリコプター



ヘリを操縦する秋田スカイテック(株)職員

見舞われた日もありましたが概ね順調に作業を終えることができました。資材課職員は「秋田スカイテック(株)の皆様はもちろん、組合員の皆様のご協力により無事に作業を終えることができ、深く感謝致します。」と話していました。

## 秋の廃プラスチック回収行

11月18日、25日に農ホリ・農ビ・農業空容器の回収が西町事務所並びに上浦幌支所農産施設前で行われました。

当日の廃プラ回収は、組合員の皆様のご協力のもと空容器の洗浄なども徹底され、スムーズに受入を終了することができました。回収は農ホリ75・4t、農ビ1・6t、農業空容器5・1tとなり、

農ホリ回収



農業空容器回収

浦幌トラック(株)により苦小牧や帯広の処理場へ運搬されました。農業用廃プラスチックの野焼きや不法投棄は法律で固く禁止されており、違反した場合は5年以下の懲役または1千万円以下の罰金もしくはその両方が科せられます。また、持ち込みの際は適正な分別、フレコンバックへしっかりと詰めていただきますようお願い致します。



## 農事組合長研修視察

11月21日、22日に1泊2日で農事組合長研修視察が行われ、各農事組合長と役員19名が参加しました。

1日目は、当農協で年2回の廃プラ回収で処理を依頼している(株)北海道サニックス環境を視察しました。集荷された廃プラは発電所用燃料に加工され、親会社の(株)サニックスエナジーの苫小牧発電所において使用することでエネルギーとして再生しているとの説明を受けました。その後工場に移動し、分別から破碎・圧縮梱包までの一連の行程を視察しました。参加者は、営農や日常生活で



日本ニューホランド(株)苫小牧デポにて

不要になった身近なプラスチックゴミがエネルギーに再生されている様子に驚いていました。

次に、日本ニューホランド(株)苫小牧デポを視察しました。工場では、輸入したトラクター等の出荷前の点検整備、日本向け再塗装など作業の説明を受けました。その後多数のトラクター、修理部品が保管されている倉庫では、購入者が安心して使用できるよう徹底した点検整備が行われており、参加者は興味深く視察していました。

2日目は、北海道コカ・コーラボトリング(株)札幌工場を視察しました。缶コーヒーを製造中のラインや、コンピュータ制御された巨大な製品倉庫、大型トレーラーに製品が積み込まれ出荷されていく様子などを見学しました。身近な製品でありながら、清田区の水源を利用して製造されていることなど知らないことが多く、参加者は熱心に耳を傾けておりました。

研修視察は大きなトラブルもなく、参加者同士の情報交換や交流を深める良い機会となり、有意義な研修視察を無事終了することができました。次年度以降も引き続き開催致しますので、多くの農事組合長の皆様の参加をお願い致します。

## 第44回青年部十勝大会

11月27日、ホテル日航ノースランド帯広で第44回J A十勝青年部大会(主催・十勝地区農協青年部協議会)が開催され、十勝管内全体で約550名の盟友が参加し、当J Aからは12名が参加しました。

開会式では十勝地区青年部協議会会長の堀江貴博氏が「先輩達が長年にわたり積み上げてきたご尽力のおかげで今がある。これに自分達の思いもせてよりよいものにしていきたい」と挨拶しました。

開会式終了後、「J A青年部活動実績発表大会」がおこなわれ、J Aおとふけ、J Aさつない、J A中札内村、J A木野、J A十勝池田町、J A帯広大正の6単組の代表盟友が、活動において注力し



表彰を受ける砂原部長

ていることや抱えている問題に対しての解決策などについて、スライドを利用したプレゼンテーションを行いました。

「動画で発信! 農の魅力コンテンツ」では、当J Aも農業に関するCMを作成し、おもしろさが評価され、見事ユーモア賞を受賞しました。

その後「農業技術・農業経営・畜産経営」の3分野の分科会が開催され、盟友は興味のある分科会へ参加し熱心に講演に耳を傾けていました。

大会終了後には懇親会が行われ、アームレスリング大会や純農B O Yオーディションが行われ、アームレスリング大会へ上出哲也さん(相川)が代表として出場し奮闘しました。他単組とも交流が深まり盛会の内には会を終了しました。



奮闘する上出哲也さん

# 役員 一泊 研修

11月30日、ホテル大平原にて、JAうらほろ役員における一泊研修会を開催し、役員118名が参加しました。

開会では林組合長より「先を見通し考える力を磨くと共に倫理観を持った人間力の向上を目指して

開会の様子



永年勤続職員の3名

ほしい」と挨拶が述べられました。その後農協法制定記念日を11月19日に迎え、永年勤続職員へ感謝状と記念品が組合長より贈呈されました。

○永年勤続職員（敬称略）

▽20年

我妻 博昭（営農販売部）

平崎 陽一（営農販売部）

矢萩 知良（営農販売部農産課）

研修会では、松浦法律事務所弁護士松浦護氏と北海道信用農業協同組合連合会帯広支所次長柴田和也氏に講師を依頼し、松浦氏からは「のぞみ34号車輛障害事故に学ぶこと」というテーマで講義が行われました。

松浦氏は「この事故は異常に対する指令と保守の認識の隔たりや相互依存、運行継続が前提であるかの誘導的な言い回しなどが原因だと推測され、このようなことを防ぐためには意識改革や組織風土の構築が重要である」と話してい

松浦 護 氏



柴田和也 氏

ました。

続いて柴田氏より「マネーローディングについて」をテーマに講義を行い、前段にマネーローディングの仕組みや管理体制などの説明後、窓口担当者や渉外担当者などの事例に基づいたDVDを視聴し対策を再確認しました。柴田氏は「気が付き」が重要であり、少しでも不審に感じるものがあればすぐ対策をとってほしい」とマネーローディングについて話していました。



## 職員農家実習

### ○営農販売部畜産課

野々村 直和

今回の実習では、長芋のネットはがし作業を行いました。体験してみても大変な作業だと感じました。この作業を1人で行うこともあると聞いた時はとても驚きました。また、収穫の際に注意することや収穫の仕方を知ることができ、勉強になりました。実習で学んだことを、今後の業務に活かし取り組みたいと思いますので、今後どうぞ宜しくお願いします。実習の機会をいただきありがとうございました。



野々村直和さん

### ○信用部信用課

畑島 菜々子

長芋のネットをはがす作業と収穫作業を体験しました。普段できない体験だったので、新鮮な気持ちで取り組むことができました。農作物を大切に育てていることが作業やお話の中から伝わり、大変勉強になりました。どんな食べ物にも感謝の気持ちを持ちたいと思いました。今回の実習をもとに日常業務に励んでゆきますので、これからもよろしく申し上げます。貴重な体験でき、ありがとうございました。



畑島菜々子さん

### ○購買部燃料車両課

齊藤 奈那花

今回の実習では長芋収穫前のネットはがしを体験しました。長芋は収穫時に傷を付けないよう、細心の注意を払って収穫しなければならぬとのこと、作業が大変だということを感じることができ大変勉強になりました。今回の経験を大切に、これからの業務を頑張りたいと思いますので、よろしく申し上げます。実習ありがとうございました。



齊藤奈那花さん

## 職員避難訓練

11月1日、本所事務所において、浦幌消防署と長谷川防災棟の協力のもと、避難訓練を実施しました。

避難訓練は年1回実施しており、今回は1階給湯室からの出火を想定し、火元の発生確認や初期消火、消防司令センターへの連絡、動けなくなった人の救助など各職員自衛消防責任体制の役割を果たしながら速やかに避難しました。

また、避難訓練の最後には、避難用はしごを使用した2階からの降下訓練を行いました。体験した職員は「想像しているよりも高さがあり、はしごが安定しておらず怖かった」と話していました。

避難訓練は、実際の災害時にお客様の避難誘導や職員の避難行動等がスムーズにできるように、日常から自衛消防責任組織体制に基づいた各職員の役割の再確認と、防火意識の向上に繋げ、いかなる災害時にも冷静に対処できるように、今後も避難訓練を実施して参ります。



降下訓練の様子

## 畜産関係研修

○ホルスタイン改良同志会視察研修  
(小川英樹会長)

11月6日、浦幌町ホルスタイン改良同志会(小川英樹会長)は研修視察を開催し、11名が参加しました。今回は広尾町の朝日牧場(株)に導入されている哺育ロボットを視察しました。代表取締役の朝日亮さんは哺育ロボットが導入されたことにより、子牛の育ちや免疫力が良くなるほか、労働時間の減少が一番のメリットだと話されていました。また、ロボットにはAI(人工知能)が搭載され、子牛1頭ずつのミルク量も計算されて可動しており、細かい部分のメンテナンスや掃除は必要ですが、導入してからは、ハッチの掃除など人力



哺育舎視察の様子

が必要な掃除に時間を割けるようになったそうです。

哺育舎内のハッチの配置や細工も工夫されており、参加者は関心を持って質問をしていました。

○酪農担い手視察研修

11月17日から20日に酪農担い手視察研修が行われ、町内酪農家後継者4名が参加しました。今年は愛知県の生駒牧場や県内洋菓子店、森永乳業(株)中京工場など6カ所を視察しました。

生駒牧場は牛舎周辺に町営住宅が隣接するような地域で営農しており、堆肥は更に数百メートル離れた田んぼへ移動させ、行き届いた管理から臭いはほとんど感じられませんでした。また、夏場は猛暑日が幾度となく訪れるため、搾乳牛舎には細霧噴射可能な扇風機を設置し対策をとっていました。

参加者達はお互いの作業状況や自分達の土地との飼養方法の違いなどについて生駒氏と情報を交換しました。

森永乳業(株)中京工場では製造ラインやミルクローリーの受入場を視察しました。自分達が生産した生乳でクリームが製造される様子を目の当たりにし、参加者は誇らしくもより良質な生乳を生産しなければと改めて気を引き締めている様子でした。

また、実際に浦幌町産クリームや



生駒牧場



森永乳業(株)中京工場

し牛乳を使用している洋菓子店を訪れ、使用感や味などについて現場で使われている方の話も聞くことができ、大変有意義な研修となりました。



洋菓子店にて

○酪農家女性第1回昼食会

11月13日、町内の酪農家女性を対象とした昼食会が開催され、13名が参加しました。

この昼食会は、経営者・経営参画者・後継者として日々多忙な女性の活躍を後押しすること目的とし、情報交換や息抜きの場として企画されています。

今回は今年9月にオープンしたレストランURATIEで開催され、参加者は食事をしながら近況報告や意見交換で盛り上がりました。



昼食会の様子



## FGスポーツ大会

11月29日、JAうらほろフレックシユグリーン（泉野咲奈会長）はスポーツ大会を開催し、恒例となっているボウリング大会をスズランボウル（帯広市）で行いました。今回は5名の会員が参加し、プレー中も終始笑いが絶えず、盛り上がっていました。

大会終了後は鶏の伊藤へ場所を移し、昼食懇親会を行い、大会の結果や近況報告で交流を深めました。

なお、結果については以下の通りです。

### スポーツ大会結果（敬称略）

- 優勝 小野 美香（川流布）  
準優勝 森 菜摘（貴老路）  
3位 朝日真理子（活平）



大会の様子



## 第9回 理事会



11月28日、役員室において理事会を開催し、令和元年度賦課金の徴収などについて審議し、全議案が承認されました。

### ○報告事項

1. 情勢報告
2. 組合員の加入及び脱退について
3. 内部監査報告について
4. 令和元年度浦幌町小規模暗渠排水事業見積り合わせ結果について
5. 固定資産の取得について
6. 自己査定マニュアルの一部改正について
7. JAバンク2019年度（上半期分）相談・苦情等対応状況について
8. 10月末生乳生産動向について
9. 理事に対する資金の貸付に係る報告について

### ○議案

- 第1号 組合員の出資持分譲渡について
- 第2号 令和元年度賦課金の徴収について
- 第3号 第11次自己資本造成計画（第2年次）の実施について
- 第4号 リース取引による固定資産賃貸借契約について
- 第5号 固定資産の取得について
- 第6号 固定資産取得に伴う発注について
- 第7号 令和元年度（第2四半期）定期監査に係る監事監査実施結果に基づく回答書について
- 第8号 役員報酬審議会への諮問について
- 第9号 2020年営農計画書農畜産物販売単価について
- 第10号 2020年営農年度組合員勘定暫定限度の設定について
- 第11号 理事に対する資金の貸付について

### ○協議案

1. 年未年始の営業と組合員勘定の最終清算日について
2. 令和2年営農計画相談日程について
3. 農業関係役員交流会について
4. 「令和元年度台風等にかかるJAグループ支援募金」活動について

## 組合員勘定の清算はお早めに！！

組勘の清算時は大変混雑が予想されますので、早めにご来所いただき、手続きを済まされますようお願い致します。

借方残高の方は、年末までの資金計画を立ててお越しく下さい。

なお、組勘取引の最終日は、**12月25日（水）**とさせていただきます。

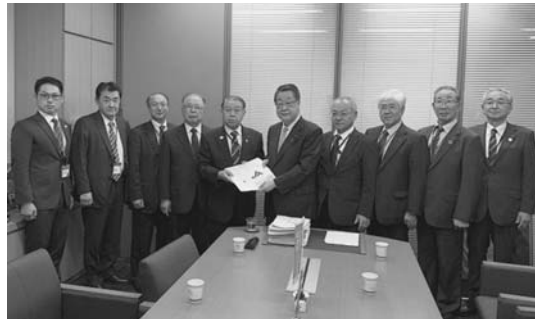
# JAグループ通信

## JA北海道中央会



JAグループ北海道は11月14日に東京都にて、「経営所得安定対策の単価改定」と「総合的なTPP等関連政策大綱の見直し」に向け、道内与党国会議員や農林幹部に対する中央要請、並びに農林水産省と意見交換を実施しました。経営所得安定対策では3年に一度の単価改定の見直し議論が行われていることから、輪作バランスや畑作経営に対する影響を考慮し、単価が大きく変動しない単価設定とすることや、各作物の生産振興対策などを求めました。TPP等関連政策大綱の改訂にあたっては、相次ぐ大型貿易協定の発行による、中長期的な北海道農業に与える影響が大きいと見られ、各作物別の需給調整・価格安定対策の充実強化、生産基盤の強化に向けた対策を求めました。

今後も、北海道の農家、組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



## JA北海道信連



収穫体験や調理体験等の独自イベント、「旬食カレッジ」は今年で4年目となり、今回は一般の女性の方々を対象に、8月、江別市で開催しました。また、全道各JAの協力を受け、今年度から新たに「親子で学ぼう! あぐりキッチン教室」を、全道各地で延べ25回開催しました。これらの食農教育活動を通じて、食や農に対する関心を高め、JA・JAバンクのサポーターを育てる取り組みを行っています。



## JA共済連北海道



JA共済連北海道は、「2019年度 JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を10月26日(土)にANAクラウンプラザホテル札幌にて開催しました。46回目を迎える同コンクールは、全道より3,296点の応募をいただき、その中から金賞9作品が選出され受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されています。



## ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は10月17日、北海道産の2019年新米発表会を東京都内で開きました。発表会には鈴木直道・北海道知事とCMキャラクターを務めるタレントのマツコ・デラックスさんらが出席しました。ホクレン内田和幸会長より「今年は、ご満足いただけるおいしい北海道米をお届けできます」とアピールし、マツコさんはステージ上で新米を試食し、「実は一番好きなのがこの『ふっくりんこ』と楽しいトークで盛り上がりました。



## JA北海道厚生連



10月23日(水)ホテルポールスター札幌において、令和元年度北海道福祉のまちづくり賞の表彰式が行われ、JA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周が公共的施設部門の「北海道福祉まちづくり賞」を受賞しました。この賞は福祉的配慮に優れた公共的施設等におくられるもので、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する会にて審査が行われ表彰が行われました。この賞を機に施設としての充実だけでなく、入居者の皆さんの生活の充実に向けて更なる向上を目指したいと思います。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業





不定期  
連載

# 続・今こそJA! ~その意義と役割~

## 【第3回】協同組合は儲けてはいけない？

協同組合は儲けてはいけないのではないか？という声を聞くことがあります。旧農協法第8条にも「組合は～営利を目的としてその事業を行ってはならない」という条文がありました。ここで非営利の意味について考えてみましょう。

株式会社の目的はその利益を株主に配当することが目的であり、この利益を「営利」と呼んでいます。一方、協同組合は組合員に対する最大奉仕が目的であり、配当を目的とした活動はしていません。これが協同組合が「非営利」といわれる所以です。

しかし、実際に協同組合が事業を進めるにあたっては利益が出ます。赤字にならないよう安全を見越して手数料を若干高めに設定したり、肥料などの購買品を大量仕入れすることでコストを下げたり、販売物を有利に販売した場合等があるからです。

協同組合では、こうして結果的に出た利益を剰余金と呼んでおり、これを組合員の利用高に応じて戻す形をとっています。ロッチデール原則の6番目にも「剰余は購買高に応じて組合員に分配する」という表現があります。こうした利益に対する考え方は協同組合がスタートした時点ですでに固まっていたと言っていいでしょう。

平成28年4月に農協法が改正され、それまでの非営利から「組合は～農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならない」という表現に変わりました。協同組合が利益を出す＝儲けてはいけないということではありません。法律が変わっても組合員の利益に配慮することは協同組合の中に脈々と生き続けているのです。



# 新パズル(12月)

レ	シ	コ	ク	シ	ム	ソ	ウ	シ
マ	セ	ツ	チ	ユ	ウ	カ	バ	タ
ニ	ツ	ク	キ	ト	キ	タ	イ	フ
ク	チ	ノ	ギ	ン	セ	セ	ク	マ
ビ	ハ	ゲ	テ	ン	ツ	ツ	ブ	ヤ
ナ	ウ	キ	タ	ノ	カ	ツ	ル	コ
ハ	ユ	タ	ク	サ	ト	ミ	ン	ト
ユ	ジ	ラ	ル	ウ	コ	ル	タ	オ
フ	ウ	ユ	シ	マ	レ	グ	マ	キ

小樽港 (おたるこう)、男山 (おとこやま)、北の勝 (きたのかつ)、北見寒菊 (きたみかんぎく)、気まぐれ (きまぐれ)、金滴 (きんてき)、国稀 (くにまれ)、国土無双 (こくしむそう)、柴田 (しばた)、拾八 (じゅうはち)、雪中花 (せっちゅうか)、大雪乃蔵 (たいせつのくら)、千歳鶴 (ちとせつる)、鶴 (つる)、徳富 (とっふ)、二世古 (にせこ)、福司 (ふくつかさ)、冬花火 (ふゆはなび)、摩周 (ましゅう)、まる田 (まるた)、雪の花 (ゆきのはな)

□解き方 今回は、北海道で作られているまたは、作られていた日本酒の銘柄を並べてみましたので、探してください。  
 まっすぐであれば、縦横斜めにどの方向から読んでもかまいません。  
 その結果、何個かカナが残りますので、それらのカナを上から並べてできる銘柄名を1つお答えください。  
 □応募要領 同封のハガキに答と住所・氏名(組合員の場合は世帯主名もご記入ください)を書き、投函ください。  
 また、本・支所の貯金窓口投函箱を用意して

□締め切り 12月20日  
 (金) (当日消印有効)  
 □賞品 正解者の中から抽選で5名の方に

ありますのでご利用ください。  
 にエコープ商品券を差し上げます。  
 □発表 正解と当選者は本紙1月号に掲載します。

ラ	カ	カ	ズ	シ	ワ	カ	ラ	ア
キ	サ	ミ	ヤ	ベ	ユ	キ	ノ	リ
ア	オ	ク	ハ	ラ	ア	キ	オ	イ
ウ	ビ	コ	カ	ワ	ダ	チ	ツ	ヒ
ノ	ナ	ノ	イ	ガ	ヤ	チ	ハ	ル
カ	タ	ロ	エ	タ	ヤ	ト	サ	レ
リ	ク	ム	ユ	ア	ノ	ラ	ヒ	ズ
ハ	ニ	ユ	ウ	ユ	ヅ	ル	ア	ミ
キ	コ	ヒ	サ	マ	ダ	ラ	ハ	シ

11月号のパズルへのご応募ありがとうございました。

13名中13名が正解でした。抽選の結果、次の5名の方に賞品をお送りいたします。  
 ▼当選者名(敬称略)  
 竹田 俊一(相川(本人)  
 江ノ上藤四郎(活平(秀行)  
 片野 彩子(万年(智生)  
 森 舞華(豊北(孝造)  
 和田 光子(南町(本人)



11月号の答えは  
**葛西紀明**  
 でした

今月の抽選者は、松村悠生さん(美園)です。

## 年末の営業についてのご案内

部 門	12/29(日)	12/30(月)	12/31(火)
一般業務 (下記以外の一般業務)	休 業	休 業	休 業
貯金窓口・ATM	休 業	平常営業 9:00~16:00	休 業
給 油 所	本 所	平常営業 8:00~18:00	営業時間変更 8:00~12:00
	上 支 所	休 業	平常営業 8:30~17:30 営業時間変更 8:30~12:00



# ちくさん情報



◎きれいに搾って素早く冷却

◎めざせランク1 = 体細胞数30万以下、生菌数1万以下

◎ホクレン十勝家畜市場  
・育成牛市場 (11月5日)

(単位：円)

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
育成牛	4	369,600	147,400	303,325	346,149

・乳牛市場 (11月7日)

(単位：円)

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊牛(ET除)	18	754,600	553,300	655,905	687,486
初妊牛(ET)	1	587,400	587,400	587,400	853,237
経産牛	1	430,100	430,100	430,100	395,386

・乳牛市場 (11月27日)

(単位：円)

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
初妊牛(ET除)	12	782,100	506,000	627,733	739,084
初妊牛(ET)	0	-	-	-	879,836
経産牛	2	364,100	316,800	340,450	446,889

次回市場 育成牛 12月4日 (農協順：13)

乳牛 12月17日 (農協順：6)

1月市場 育成牛 1月8日 (農協順：7)

乳牛 1月22日 (農協順：15)

・肉牛市場 (11月12日-15日)

(単位：円)

	頭数	最高価格	最低価格	浦幌平均価格	十勝平均価格
和牛素牛(去勢)	72	1,017,500	493,900	735,060	805,431
和牛素牛(雌)	30	797,500	288,200	624,543	708,573
繁殖雌牛	9	1,107,700	221,100	363,000	541,281
廃用牛	25	301,400	123,200	233,904	274,941
交雑牛(去勢)	2	503,800	442,200	473,000	504,979
交雑牛(雌)	66	434,500	334,400	382,250	402,776

次回市場 12月10・11日

(農協順 黒毛：1・交雑牛：7)

1月市場 1月14・17日

(農協順 黒毛：5・交雑牛：6)

◎ホクレン十勝枝肉市場 (11月平均単価)

(単位：kg/円)

	A-5	A-4	A-3	A-2	平均単価
和牛	2,297	2,053	1,852	1,693	2,206
	AB-5	AB-4	AB-3	AB-2	平均単価
交雑牛		1,842	1,752	925	1,425

◎初生犢の集荷は、十勝中央家畜市場対応となり、下記の日程で集荷致します。

◎十勝中央家畜市場

12月開催日

3日・6日・10日・13日・17日・20日・24日・27日

1月開催日

7日・10日・14日・17日・21日・24日・28日

◎畜産公社出荷日 12月都度協議

◎畜産物の販売希望者は、早めに畜産課へご連絡下さい。集荷には特段のご協力をお願い致します。尚、初乳は充分与えて下さい。

## △乾乳管理と疾病予防▽

乾乳期の管理がうまくいかない場合には、以下のようなさまざまな疾病が発生します。  
・乳熱・ケトシス・第四胃変位・胎盤停滞  
疾病の多くは分娩前後に集中します。そのため乾乳期間の飼養管理が重要になります。  
乳熱(低カルシウム血症)から始まる乾乳後期のミネラル代謝の乱れは、  
①血中カルシウムの低下  
②食欲不振やルーメン運動など、平滑筋の機能低下を起します。これが第四胃変位等の誘因となり、さらに飼料摂取量の低下によるケトシスの発症

やエネルギー不足による繁殖効率の低下等も促します。  
分娩後に搾り始めて、乳量が最大になる時期に、疾病が起こると、治療にかかる費用、手間など大きな経営的損害を被ることとなります。  
疾病させないための対策ポイントとは、  
①良質な粗飼料を飽食できる状態にする。  
②乾乳前期・後期に分けて栄養濃度とミネラルバランスを取る。  
③分娩場所は、滑りにくく、ベッドは敷きわらを多くいれて乾いた場所を確保する。

◎浦幌町の乳牛頭数(搾乳農家)10月

経産牛			育成牛	合計
搾乳牛	乾乳牛	計		
3,634頭	494頭	4,128頭	2,727頭	6,855頭

◎生乳生産量(10月出荷分)

実績乳量	前年実績対比	4月~10月実績乳量	4月~10月前年対比	経産牛1日1頭当乳量
3,019 t	106.5%	21,257 t	103.7%	26.8kg

◎生乳成分と乳代単価(10月)

項目	脂肪率 %	無脂固形分率 %	単価内訳(円)			合計
			生乳単価	補給金単価	集送乳調整金	
平均			95.05	5.72	1.71	102.48
全道	3.99	8.79	95.05	5.72	1.71	102.48
十勝	3.95	8.80	94.85	5.72	1.71	102.28
浦幌町	3.99	8.80	95.16	5.72	1.71	102.59

◎衛生的乳質検査結果(10月)

ランク	生菌数			体細胞数	戸数
	1	2	3		
全道	15,103 (96.7)	490 (3.1)	12 (0.2)	12,417 (86.0)	5,208
十勝	3,257 (97.4)	83 (2.4)	2 (0.2)	2,730 (92.1)	1,118
浦幌町	130 (92.1)	11 (7.9)	0 (0.0)	117 (91.4)	47

上段は3旬計の件数・下段( )は%



# 我が家の子宝



美園地区 小川知里<sup>ちさと</sup>ちゃん(9歳)・珠季<sup>たまき</sup>ちゃん(9歳)・靖太<sup>せい太</sup>くん(6歳)  
(小川英樹さん、梓さん夫妻のお子さん)

- **好きな食べ物は？**  
知里ちゃん：あんかけ焼きそば  
珠季ちゃん：タンタン麺  
靖太くん：唐揚げ
- **宝物、マイブームは？**  
知里ちゃん：キーボード  
珠季ちゃん：読書  
靖太くん：工作
- **チャームポイントは？**  
知里ちゃん：笑顔  
珠季ちゃん：長いまつげ  
靖太くん：あごの下あたり
- **家でのお子さんの様子は？**  
知里ちゃん・珠季ちゃん：  
本を読むか、テレビを見ていることがほとんど  
靖太くん：  
工作に夢中。発明品？を作っている
- **成長を感じる場面**  
知里ちゃん・珠季ちゃん：  
朝ごはんを自分で作って食べれるようになったこと  
靖太くん：  
自分でシャンプーができるようになったこと
- **どんな子に育ててほしいですか？**  
明るく元気な子にそだってほしい。

## 12月のカレンダー

※ 行事日程は変更になる場合があります。

日	事 項
2	第17回企画会議
4	青年部バス研修視察
5	十勝管内農業機械早期予約展示会（～6日）
7	北海道枝肉共励会（黒毛和牛の部）
8	第20回うらほろ物産フェア
11	畜産専門委員会 第15回農業関係役員交流会
13	組合員研修（農業協同組合論） 第2回農事組合長会議
14	十勝和牛枝肉共励会
15	令和元年度馬産振興協議会鞍馬研修視察
16	農産専門委員会
19	第18回企画会議
23	第10回理事会

## 新 晴耕雨読

200

今回は「日本の歴史(全26巻)」(講談社学術文庫)を取り上げます。歴史家の網野善彦など5人を編集委員に迎えた全集で、数年前に文庫化されました。  
編集委員の1人、網野が著した「00『日本』とは何か」は、著者がかねてよりテーマとしていた「日本は農業社会で、百姓はすべて農民なのか」を検証しなおし、「百姓」の多様な生業(農業だけではなく、金融、流通など)、海民の実態、琉球、アイヌとの結びつき、さらに、西日本・南日

本の人たちは東南アジアとダイナミックな交流を行っていたことなどを明らかにしていきます。

また、岡村道雄著「01 縄文の生活誌」は、単行本が出た直後に起きた旧石器発掘捏造事件のために回収され、内容を根本的に書き直した上で、改めて発刊されました。本文庫のあとがきで著者は、捏造事件や考古学界などについての忸怩たる思いを綴っています。

この捏造事件をスクープした毎日新聞旧石器遺跡取材班が著した「発掘捏造」(毎日新聞社)には、スクープに至った当時の生々しい様子が写真とともに記録されています。



(り)